

第29号 (2023年度 前期)

養寿寺だより

発行日 令和5年1月1日
 編集・発行 真宗大谷派 養寿寺
 〒473-0924 豊田市花園町屋敷56
 TEL&FAX (0565)52-4470
 E-mail n-makino@hm.aitai.ne.jp
 ホームページ 花園町養寿寺で検索

花園町養寿寺

検索

『SDGs』と仏さまの教え

最近、左のようなバッジをつけている人をよく見かけませんか？『SDGs』持続可能な開発目標



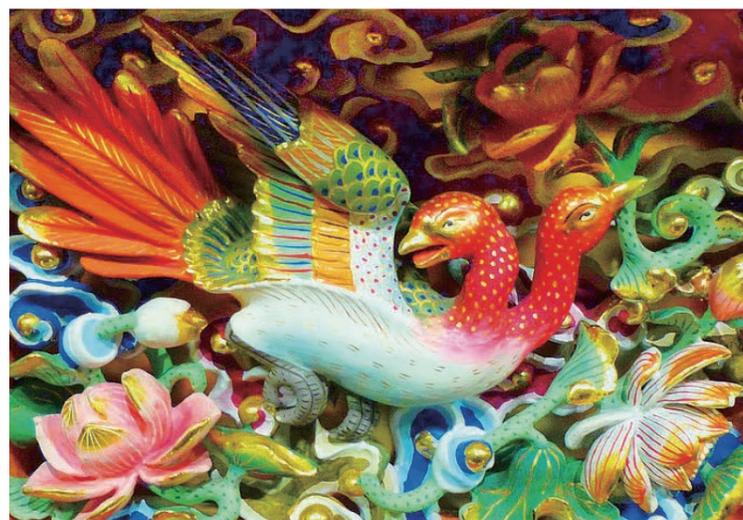
SDGsのバッジ

を表すバッジなんだそうです。ところが、『SDGs』の説明を始める、「難しいのはチョット遠慮します！」「もうめんどくさいよ！」などと不機嫌な声が聞こえてきそうです。実は、私もそんな思いを抱いていた一人でした。

①女性住職さん増えてきましたよね。②こんなに夏って暑かったっけ。③歯の詰め物ってこんなに高価なの。これは私が最近「おやっ」と感じたことを思いつくままあげた3つです。あくまでも「思いつき」であげた3つですが、実は、この『SDGs』なるものとも関係があるようです。

まず、①は男女平等の問題と言いつつ、親戚が一般的です。ただし、むかしは住職資格は男性に限られていました。その後、女性にも住職資格が与えられると、だんだん女性住職の割合が増えました。大切なのは一人一人の資質と人柄で、住職が女性であることの不都合はまったくありません。お寺を持続させていくためにも、女性住職も必要であることが改めて思い知らされます。

②は地球温暖化です。地球温暖化問題は関心が高まっています。中でも、地球は私たちがただのものではないという考え方が強くなってきているようです。地球は、全生物や未来



共命の鳥の彫刻

の子どもたちの『すみか』でもあるという考え方で。聞きかじりの知識ですが、地球温暖化は二酸化炭素排出量増加が原因とされているそうです。「借りたお部屋を出るときには、きちんとお掃除してかから出て行きましょうね」のルールのように、産業発展と豊かな暮らしのため人類がどんどん排出してきた二酸化炭素を産業革命以前のきれいな状態に戻して、全生物と次の世代にこの地球を渡していくべきだという考え方のなださうです。環境オタクには、少々辟易してしまう私ですが、この考え方には思わずその通りだと膝をたたいてしまいます。

③はロシアによるウクライナへの侵攻が原因らしいのです。日々、ウクライナでの戦争状況はテレビで伝えられていますが、どこか遠い出来事のように感じられていました。ところが、歯の詰め物がとれてしまい歯医者さんに行くと、この戦争のせいで銀歯(パラジウム合金)が不足し、値段がかなり上がっているとのこと。「しょせん、八千キロ以上も離れたウクライナじゃん」とのんきに考えていた私も、自分の知らないうちに世界と日本の関係はますます強くなっていることを痛感します。『世界平和』は、理想的でどこか歯の浮くようなスローガンにとられがちですが、実際は、私たちの生活に直結する問題といっても過言ではありません。

私が思いつくままにあげた三つの事柄は、それぞれ『平等』『環境』『平和』に関わっています。『SDGs』のGは「ゴール、つまり目標」です。その目標は十七個。その目標の中にこの項目は含まれています。専門家でない限りは全部を覚える必要はありません。むしろ、十七個の目標には何か共通するもの、しかも大切なものがあるように感じます。それが、ある仏さまの教えに出てくるのです。

『阿弥陀経』というお経には鳥の名前が六つ出てきます。その一つが『共命之鳥』(共なる命の鳥)というものです。美しい羽毛をもち、きれいな声で鳴く鳥ですが、この鳥は体が一つで頭が二つある独特の鳥です。ある日、二つある頭の一方が「わたしがいるから羽毛も声もこの世で一番美しいと褒められるのかなあ」と言い出します。やがて互いに憎み、争うようになり、ついに「片方さえいなければ、この私が一番だ」と考え始めます。そんなある日、なんと密かに毒を混ぜ、片方に食べさせてしまいます。食べた方はもちろん死にましたが、食べさせた方も体が一つですので、気づいた時にはすでに遅く死んでしまいます。この愚かな事件があったから、『共命の鳥』は仏さまの世界で「他を滅ぼすことは自分も滅ぼし、他を生かすことこそ自分も生かすことにつながるのだ」と鳴き続けているそうです。

時に「世のため人のため」と言われることがありますが。何か、自己犠牲を美化するようで窮屈に感じます。この仏さまの教えは、他を利することは結局、自分を利することにつながるかと説きます。たとえば、グループの一人一人に敬意を持って接すれば、グループ全体が活力あるものになります。たとえば、自然環境を大切にすれば、自然環境から得られる恵みをこれからも受け取ることができます。たとえば、戦争を避け、平和を維持する世界規模での努力は、戦争当事国の人の命の問題だけでなく私たちの日常生活の安定につながります。

『世界を変えるためのSDGs十七の目標』は多岐にわたり、複雑で身近に感じられないかもしれせん。しかし、『共命之鳥』の絵を思い出しただければ、その大切な根幹の理念を理解できると私は考えます。そして、私たち自身が『共命之鳥』であることを忘れなければ、きっと『SDGs』に向かって進んでいけるのではないのでしょうか。

(住職記)



シリーズ人に会う 第六回 花園町自治区区长 寺田典明様

お寺の隣にある花園町区民会館。そのトップ、区長の寺田典明様に花園町自治区の活動などについておうかがいしました。

Q1. 区長職を引き受けられた理由をお聞かせください。
複数の区長経験者の方々から推薦いただき、花園町で育った身として、地域のために少しでもお手伝いできればと決めました。

Q2. 区長さんのお仕事を簡単にお教えください。

簡単に説明は難しいですね。(花園町自治区だより五月号をひらき)ご覧のように活動内容は多岐にわたります。花園町自治区は豊田市内約二百ある自治区で世帯数規模で上から6番目。従って区議員さんをはじめ大勢の人の協力で活動は成り立っています。また、住民サービスの充実のため豊田市から予算が与えられ委託を受けているものもあります。計画した事業の執行に加え、特に多いのが、町民の方々からの環境や安全などに対する要望です。その要望を整理し、市だけではなく県などに伝えることもあります。

Q3. 区長さんの在任中の目標などがあればお教えください。

花園町は区画整理事業に伴い、大きく変わりつつあります。『より良いまちづくり』に区長として貢献したいと思っています。また、防災・防犯・環境・教育・交流など『まちづくり』にはいろいろな世代や立場の方に積極的にご参加いただくことが大切だと考えています。また、区議員の女性割合がまだ不十分です。近い将来、女性の区長さんがこの地域にもでてきてくれることを願っています。



自治区職員

それでは、自治区からいただいた写真をもとに活動の一部を紹介させていただきます。

【1. 防災関連】

広域災害時、公的な機関の援助、公助は十分に届くわけではありません。自助に加え、近所の住民が協力し合う共助が必要になります。花園町自治区防災隊は日頃の訓練もあり災害時対応の練度に関して市内でもトップクラスだそうです。



防災訓練 起震車 体験



防災訓練 搬送訓練

【2. 防犯関連】

区画整理事業と町の発展に伴い、犯罪件数は増加する可能性もあるようです。花園町を安心して暮らせるまちにするため花園町自治区防犯隊の皆さんは日々ご尽力されています。



三河八橋駅深夜降車客調査・マスク配付



年中無休青パトで防犯パトロール

【3. 環境美化関連】

各種ゴミ出しや環境美化活動に加え、町内各所の草刈りなど行政から委託を受けて「きれいなまちづくり」にご努力されています。



春の環境美化活動



秋の環境美化活動

【4. 地域交流】

夏祭りには盆踊りや抽選会。秋祭りには、餅投げなど。この地域の伝統を考慮しながら、地域の方々が楽しんで参加していただけるような行事をめざしているそうです。



夏祭り 盆踊り



夏祭り 抽選会



秋祭り 御神輿



秋祭り 餅投げ



区議員による夜間防災訓練(簡易トイレの設置)

【インタビューを終えて】

町内会のイメージはどこかのんびりとした組織の印象がありました。しかし、花園町は現在、人口約八千人の大きな町で、組織を細かく分けて活動されているようです。花園町区民会館にはひっきりなしに人が訪れます。寺田典明区長さんは、来客の対応や関係各所への出張、パソコンに向かいデスクワークと多忙を極めておられました。町への帰属意識が薄れ『コミュニティの崩壊』という寒々しい状況にならぬよう、住民一人ひとりが『よりよいまちづくり』への当事者意識を持つことが必要だと改めて痛感しました。

養寿寺世話方会活動と御仏供米ご寄付集め

八年目を迎えた『御仏供米ご寄付』。みなさまのご協力により感謝申し上げます。

ご寄付いただいた家 二百四十二軒 (前年比1軒増)
ご寄付いただいた金額合計 九十九万四千円 (前年比約三万円減)

大切な御浄財はお寺の施設や行事のさらなる充実に役立ててまいります。今回の御仏供米の収支は、次回の『養寿寺だより』でご報告申し上げます。



世話方会による第一墓地草刈り



刈った草を処分場へ



墓地駐車場のアスファルト舗装

養寿寺の活動『蓮華の会』(写経)

コロナのために中断しておりました『蓮華の会』の活動を本年度、再開しました。参加人数を少し制限し開催しました。十五名ほどの方々にご参加いただきました。



蓮華の会 その①



蓮華の会 その②

本年度 御依頼割当のご報告

本年度 本山からの御依頼額

百八万六千六百二十円

(同朋会員志四万二千五百円含む)

みなさまのおかげをもちまして、早期に、しかも、御依頼額を上回る額を納めることができました。心より御礼申しあげます。

なお、この本山御依頼割当(経常費)につきましては、院号申請・本山納骨申請に対する御懇志を充てさせていただいております。

(一)院号申請された方

- 中田一茂様
- 樹神みさ代様
- 加藤三代次様
- 寺田富霊雄様
- 大森あさる様
- 樹神重直様
- 大森秀樹様
- 大竹和秀様
- 松橋勝己様
- 水谷 猛様

(順不同)

*院号申請 八万円のご志納

院号の御依頼いただいた順に適宜、本山に納めています。

また、院号法名は生前にも申請できます。最近、ご自身の院号法名を申請される方が増えてまいりました。

(二)本山納骨申請された方々

- 中田一茂様 金原君江様
- 水谷 猛様 山田 忠様 (順不同)

*ご本山 東本願寺に納骨をご希望される方は養寿寺にご相談ください。本山納骨は一体十二万円のご志納です。手続き終了後は、何年先でも構いません。納骨を機会にぜひご本山にお参りください。

養寿寺施設や備品の充実についてのご報告

- (一)本堂内陣畳替え 二十六万四千元
- (二)玄関格天井補修工事 二十万円
- (三)パソコン等買い換え 十六万五千百十一円

なお、高額物品購入並びに施設充実のための費用については主に養寿寺にご寄付いただいた永代祠堂金(永代供養)より支払っております。本年度は、

- 原田和弘様 深見浩史様
- 樹神房子様 寺田 進様

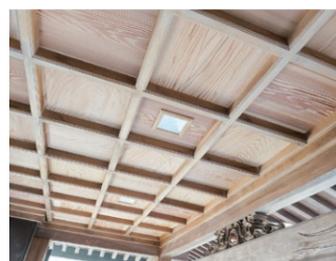
以上の方々より御志納いただきました。心より感謝申し上げます。



ぼろぼろの格天井



約30年前の内陣畳



新しくなった玄関格天井



新しくなった内陣畳

令和五年(二〇二三)年度 年忌早見表

一周忌	…令和四年	(二〇二二)逝去
三回忌	…令和三年	(二〇二一)逝去
七回忌	…平成二十九年(二〇一七)	〳
十三回忌	…平成二十三年(二〇一一)	〳
十七回忌	…平成十九年(二〇〇七)	〳
二十二回忌	…平成十三年(二〇〇一)	〳
二十七回忌	…平成九年(一九九七)	〳
三十三回忌	…平成三年(一九九一)	〳
五十回忌	…昭和四十九年(一九七四)	〳

御布施のこと、お一人以上の年忌法要のこと、区切りを付けるための『弔い上げ法要』のことなど、ご質問そのものが仏教に触れていただくことにもなります。遠慮無くご相談ください。また、お寺を年忌会場としてもご利用ください。

令和四年度七月から十二月までのコロナウイルス禍での主な行事 ご報告

一. こころの元気塾

コロナ第7波も少し心配される中、感染抑止に努めながら、参加定員を百名に制限し、七月の二十四日(日)・二十五日(月)の両日早朝に『こころの元気塾』を実施しました。一日目の講師はプロ棋士で藤井聡太五冠の師匠、杉本昌隆八段。二日目は福万寺住職の戸松憲仁師でした。お寺とご縁の無かった将棋ファンも参加され、九十五名の方にご参加いただきました。



講師の杉本昌隆八段との記念撮影



杉本先生の講演の様子

二. ラジオ体操とお経のお稽古

花園町子ども会様の協力を得て三年ぶりに八月二十二日から三日間実施しました。参加者は全員で約二十名ほど。改めて子どもたちの正信偈を覚える速さに驚きました。



ラジオ体操



正信偈の練習

- 三. 秋の法話会 コロナの影響で中止
- 四. 合同盂蘭盆会 八月十三日・十四日

昨年度の秋からこの一年間の間にお亡くなりになった方のご遺族を対象に合同盂蘭盆会(合同初盆)をお寺で行いました。コロナ禍の中、感染対策をしながら本年度も冷房を利用できるお寺の庫裏で実施しました。二日間で二十三家族七十九名の方にご参詣をいただきました。



合同盂蘭盆会 ①



合同盂蘭盆会 ②

四. 永代祠堂法要



法要の様子



講師の村上先生



お弁当の持ち帰り



報恩講 満堂



報恩講 法要

九月二十三日(秋分の日)本堂で二年ぶりに永代祠堂法要を厳修いたしました。法話の部では、名古屋外国語大学教授村上慎一先生にお話しをいただきました。また、お斎は、みよし市の『うお茂さん』の弁当をお持ち帰りいただきました。

五・報恩講

本年度報恩講を十月二十九日の午後、三十日午前の二日間で厳修いたしました。御志納者は百六十九名(昨年比二名増)。御志納額は、五十三万一千円(昨年比四千円増)でした。ご参詣、ならびに御志納ありがとうございました。一日目の法話講師は、西尾市法名寺の松原紗蓮先生、二日目は和田真雄先生。お斎は『うお茂』さんの持ち帰り弁当にしました。また、今回も『ピンゴ』大会を実施しました。景品の充実を図り昨年以上に盛り上がりました。特に二日目はありがたいことに満堂でした。



『うお茂』さんのお弁当



世話方会主催ピンゴ大会



報恩講 松原先生



お寺での戦没者追悼法要



戦没者追悼 墓前 その①

八・年二回の戦没者墓前追悼法要

例年通り、八月の十四日、花園町戦没者墓地での墓前追悼法要・十一月九日には養寿寺で戦没者追悼法要が花園町戦没者遺族会主催で執り行われました。



小松原地区主催 地蔵盆

六・高岡組門徒会主催

本年度も八月下旬に、コロナの感染状況が厳しい中で、花園町の三方所で地蔵盆が執り行われました。町の安全を願う道祖神信仰と仏教が融合したものだとしてされています。町の安全は地域の連携を深めることが大切だと言われています。地蔵盆を機縁とし、地域の人がお互い顔を合わせ、お話をすることは町の安全に役立つことになるのではないのでしょうか。

七・花園町 地蔵盆

本山報恩講団体参拝 中止



花園町戦没者 遺影



戦没者追悼 墓前 その②



馬捨地区主催 地蔵盆

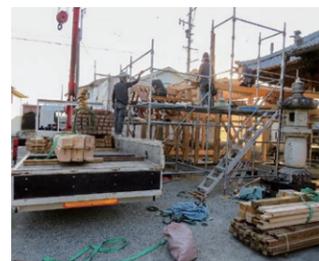


ふれあいクラブ主催 地蔵盆

なお、順調にいけば、本年春より納骨受け入れを開始する予定です。また、別途、費用についてはご連絡申し上げます。



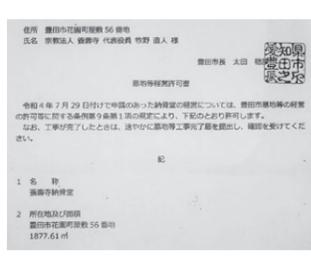
納骨堂正面 唐波風



棟上げ工事 その②



地盤整備・基礎工事



納骨堂の運営許可書

養寿寺納骨堂 進ちよく報告

養寿寺の納骨堂を建設しております。主な申請手続きも終わり、昨年十月には豊田市より宗教法人養寿寺に対し正式に納骨堂の運営を許可していただけることになりました。十二月はじめまでの進ちよく状況を写真でご紹介申し上げます。



12月9日現在、納骨堂工事の様子



瓦取り付け工事



棟上げ工事 その①



旧建物の取り壊し

〔西暦2023年6月までの主な予定ご案内〕

- 〔注意〕新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、行事を行ってまいります。蓮如忌については、改めて正式なものをお渡しします。その他『花まつり』以後の行事予定に関しては中止の可能性もございますので、未定とさせていただきます。
- 12月31日(土) 除夜の鐘 11時30分頃から 1月1日(日) 修正会 午前0時から 正信偈を読みます。
 - 1月4日(水) 養寿寺主催 書き初め会 午前中
 - 3月18日(土) 蓮如忌第1日 午後 法要と法話 講師未定 養寿寺世話方企画 ピンゴ大会 計画中
 - 19日(日) 蓮如忌第2日 午前 法要と落語 お斎(とき)は弁当を予定しています。落語 笑福亭仁智 師匠
 - 4月8日(土) 養寿寺花まつり 午前10時 大人の部・午後四時 こどもの部 町内回覧板でご連絡いたします。
 - 4月19日(水) 親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要(於東本願寺)高岡組団体参拝 各お寺へは7人程度の割当 * 参加については高岡組門徒会役員の皆さんで協議します。
 - 5月 中旬 法話会(世話方会主催)を予定しておりますが、詳細は未定です。



除夜の鐘撞き



蓮如忌 法要の様子



蓮如忌 落語



花まつり



法話会